

## クリームパックの有効性

スキンケア効果を高めるクリームパックを継続して行い、肌の変化を検証しました。その結果、明るさの変化、目じりのシワの変化が確認されました。

### 試験概要

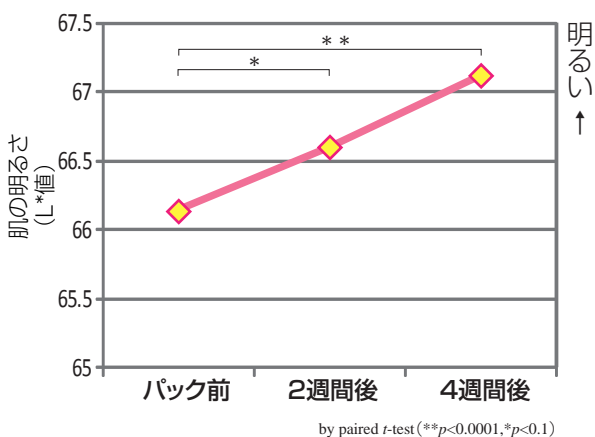
#### 試験 クリームパック (CP) による肌の明るさ及びシワへの影響の検証

被験者：17名  
 試験期間：4週間  
 CPの頻度：2日に1回  
 CPの方法：洗顔後にクリームを顔全体に塗布  
           →クリームを塗布したままお風呂に10～15分浸かる  
           →クリームをぬるま湯で洗い流す  
 測定項目：①測色計 - 肌の明るさを測定   ②PRIMOS - 目じりのシワを測定  
 測定回数：パック前、2週間後、4週間後の3回

#### 【結果① 肌の明るさ】

分光測色計を用いて肌の明るさ(L\*値)を測定しました。測定場所は頬とし、シミがある場合はその場所を避けて測定しました。パック前、2週間後、4週間後と経時的な肌の明るさの有意な向上を確認しました(図1)。

図1：肌の明るさにおける変化



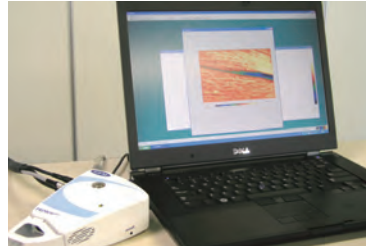
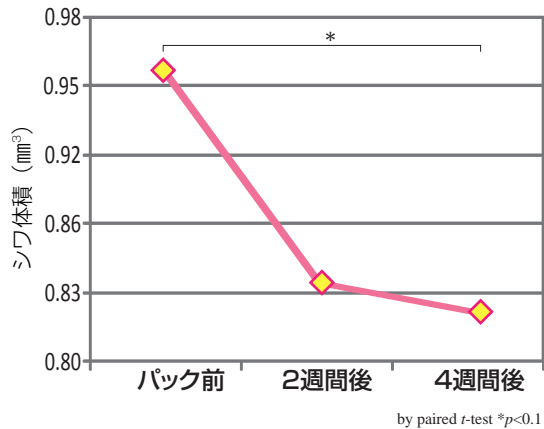
#### 肌の明るさの評価

分光測色計により肌の明度を測定。肌の明るさを数値化して評価。(白が100、黒が0で表示され、肌の明るい方で70くらい)

## 【結果② シワ(PRIMOS)】

シワ解析機器であるPRIMOSを用いて目じりのシワを撮影・解析しました。解析項目は、シワの長さ・深さから計算される体積について行いました。パック前、2週間後、4週間後と経時的なシワ体積の低下を確認しました(図2、図3)。

図2：目じりのシワ体積における変化



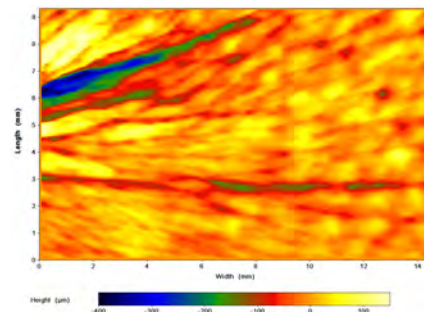
### 肌画像による評価

撮影した画像を解析し、肌の状態を視覚的に評価、および、シワの深さ、体積を数値化。

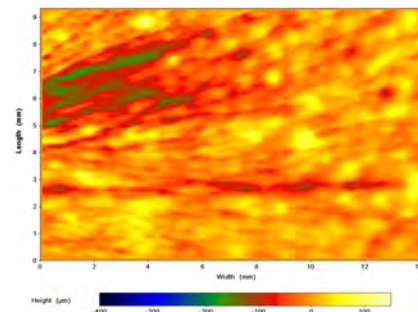
図3：目じり撮影時のシワ変化例

※レプリカを用いてPRIMOSで解析した画像。皮膚の凹凸を色で表示／黄→赤→緑→青(深)

パック前



4週間後



## 総括

以上の結果から、クリームパックを行うことで、パック前、2週間後、さらに4週間後と経時的な肌の明るさの向上及びシワ体積の低下が確認されました。